

学校プール再編事業について

令和5年(2023)6月22日
指導課

1 目的・趣旨

熊本市公共施設等総合管理計画をもとに実施。学校プールは学校施設の中でも利用期間が年間約2か月であり、建設費用も高い。プールの耐用年数は約50年であり、今後建て替えを要する学校が増える。建て替え費用と児童の泳力向上、教員の負担軽減及び学校プール施設の維持管理費用削減などの効果を総合的に考え、老朽化が著しい学校は、建て替えを行わず民間スイミングクラブで水泳授業が可能か、令和4年度よりモデル事業を実施している。

2 令和4年度モデル事業について

(1) モデル校選定の条件

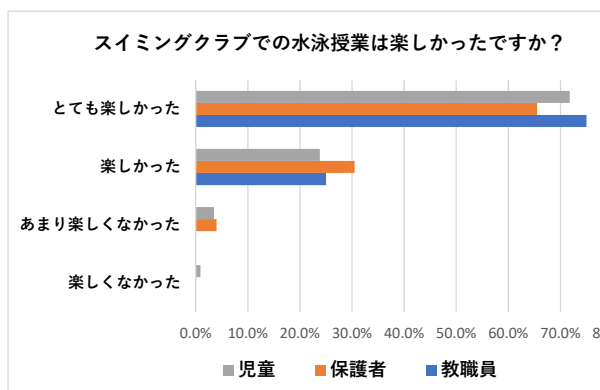
- 築50年以上またはプールの老朽化が著しい。
- 児童数約470名以下。
- 移動時間約10分以内。以上3つの条件を満たす。

(2) モデル校(小学校2校)

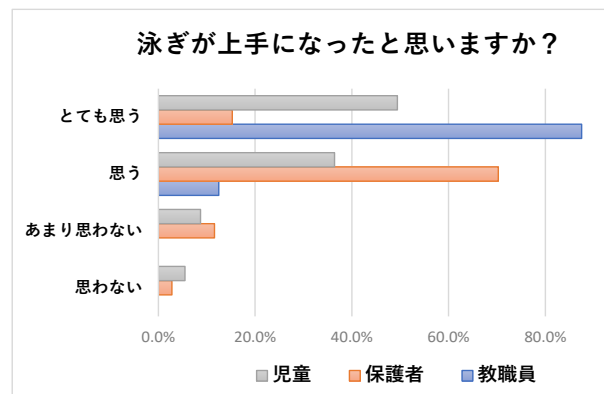
小学校名	児童数	移動時間	スイミングクラブ名	備考
飽田南	245名	約7分	流泳館西部スイミングクラブ	90分×5回の授業、バスによる送迎、インストラクター補助
田底	99名	約5分	マリーンスイミングクラブかもと	75分×6回の授業、バスによる送迎、インストラクター補助

(3) アンケート結果より【※対象者：児童 344 名 保護者 249 名 教職員 16 名】

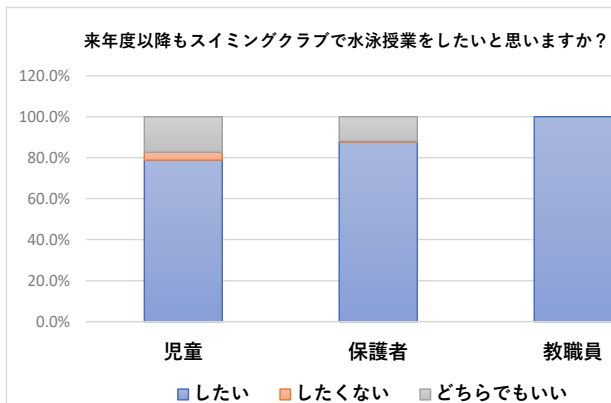
「楽しさについて」



「泳ぎの上達について」



「本事業の継続について」



良かった点についての質問では、児童からは「プールや更衣室等の施設がきれい」、保護者からは「室内で安心して授業ができてよい」、教職員からは「児童の安全管理や個別の細かな評価がゆとりをもってできた」などの意見が多く見られた。

アンケートの結果、本事業について、児童、保護者、教職員ともにすべての項目において、好意的な意見が見られた。

3 令和5年度モデル事業

実施状況:飽田南小、田底小の2校に加え、城北小、吉松小、芳野小(芳野中プール共用)の3校を拡充。

小学校名	児童数	移動時間	スイミングクラブ名	備考
城北	388名	約9分	菊南スイミングクラブ	75分×6回の授業、バスによる送迎、インストラクター補助
吉松	151名	約6分	マリーンスイミングクラブかもと	75分×6回の授業、バスによる送迎、インストラクター補助
芳野	76名	約3分 ※徒歩	E-LAND スポーツクラブ	芳野中のプールを共用し、スイミングクラブからインストラクターを派遣。10回の授業。

4 スケジュール

	令和4年度									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月～3月
飽田南小	契約	事業所・学校打合せ		アンケート実施	地域説明		学校プール再編懇談会			学校・事業所・市教委打合せ
田底小										
城北小				モデル校視察				次年度に向けて 学校説明	事業所説明	
吉松小										
芳野小										プール工事

	令和5年度									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月～3月
飽田南小	契約	事業所・学校打合せ		アンケート実施	学校説明	地域説明	学校プール再編懇談会	次年度に向けて 学校との打合せ	事業所との打合せ	学校・事業所・市教委打合せ
田底小										
城北小	契約	事業所・学校打合せ								
吉松小										
芳野小					施設整備等検討					

5 今後の方針

- モデル校として成果検証を行い、学校、子ども、保護者、地域の承認をえて実践校として継続していく。
- 実践校となった場合のプールについては、各学校の状況をみながら撤去の方向ですすめていく。
- 今後もモデル事業の選定条件を満たす学校についてはモデル校として拡充していく。